

## 生活科学系コンソーシアム第5回総会 議事録

日時：平成24年9月25日（火） 15：30～16：30

場所：日本学術会議 5階 5-A 会議室 (1)(2)

### 出席者：

コンソーシアム構成 10学会より会長、連絡担当者計 12名

国際服飾学会（増田美子 佐々井啓）

日本栄養・食糧学会（鈴木恵美子）

日本家政学会（久保田紀久枝 牛腸ヒロミ）

日本家庭科教育学会（渡邊彩子）

日本消費者教育学会（西村隆男、天野晴子）

日本衣服学会（阿部栄子）

日本調理科学会（大越ひろ 河野一世）

日本食生活学会（和田淑子）（敬称略）

日本学術会議 健康・生活科学委員会 家政学分科会委員 7名

片山倫子、渋川祥子、小川宣子、塚原典子、多屋淑子

都築和代 沖田富美子

（敬称略）

資料：添付資料 資料1 生活科学系コンソーシアム 名簿（2012.9.25 現在）  
資料2 生活科学系コンソーシアム第10回議事録 案  
資料3 生活科学系コンソーシアム 規則（改正案）  
資料4 生活科学系コンソーシアム 平成23年度 活動報告  
資料5 平成23年度 収支決算報告及び監査報告  
資料6 平成24年度 収支予算（案）

### 議事内容

片山会長より、生活科学系コンソーシアムの設立からこれまでの経緯について説明があった後に、議事に入った。

1. 生活科学系コンソーシアム第10回議事録（案）の承認（沖田委員）
2. 生活科学系コンソーシアム規則（改正案）について（塚原委員）  
資料3をもとに、訂正個所の説明がなされ承認された
3. 23年度活動報告について（沖田委員）  
資料4をもとに、活動の報告がなされた
4. 平成23年度収支決算報告及び監査報告について（塚原委員）  
資料5をもとに、23年度収支決算報告がなされた。

監査報告に入る前に、片山会長から生活科学系コンソーシアムの会計年

度である4月から3月までの途中の9月末日で日本学術会議第21期から22期に組織が変わったために、21期に監事であった春日委員の後任の新しい監事を決めなくてはいけなかったが、既に総会が終わったばかりであったためにその手続きがおくってしまった。

そこで、今回の監査に当たって、沖田委員を監事代行にさせていただくことについて承諾を得たい旨の説明があった。

監事代行の件を承認を得た後に、23年度収支決算報告に関する監査報告が沖田監事代行からあり、本案件が承認された。

5. 平成24年度収予算(案)について (塚原委員)

資料6をもとに、平成24年度予算を承認した。

6. 24年度役員(案)について (片山委員)

24年度から構成学会委員も役員として参加してもらうこととし、以下の新役員(案)を提案した。審議の結果提案が承認された。

会長 小川宣子 副会長 塚原典子 監事 渋川祥子  
事務担当(庶務) 都築和代 阿部栄子  
事務担当(会計) 多屋淑子 事務担当(記録) 沖田富美子

7. 24年度活動計画について (澁川委員)

・シンポジウム開催について

東日本大震災に対する活動・展望・将来に向けて

開催日時：2012年11月24日(土)午後 予定

開催会場：大妻女子大学

上記のシンポジウムを企画、構成学会に依頼した後の経過報告がなされ(現時点では3学会がシンポジスト可能、1学会が資料提供は可)。

シンポジウム開催の是非について討議した結果、開催することに決定。但し各構成学会において参加について、早急に再度検討してもらうこととした

シンポジウム担当を、阿部栄子委員 渡邊彩子委員、大越ひろ委員にお願いすることとした

・第4回生活科学系博士課程論文発表会について

開催日時：2013年3月 開催会場：お茶の水女子大学

で開催することを確認した

開催日は 3月27日(水)あるいは3月25日(月)

論文発表会担当を、阿部栄子委員、鈴木恵美子委員、天野晴子委員にお願いすることとなり、準備計画について鈴木委員から説明があった

8. その他

(塚原委員)

今年度会費口数の確認依頼 多屋委員に連絡する

生活科学系コンソーシアム名簿の確認依頼 都築委員に連絡する

9. 今後の課題

- ・小川新会長より、生活科学系コンソーシアムとして、どういう活動をしたいか意見・提案を出して欲しいとの依頼がなされた
- ・総会の実施時期が9月であることについて質問があり、設立が9月であったため、そのまま踏襲して来たとの説明が在った。  
総会の開催時期については、今後検討することになった。

以上